

自然共生

生物多様性と私たちの暮らしを支える自然のめぐみ

私たちの暮らしは、豊かな自然の恵みを受け取って成り立っています。この自然の恵みは、多くの生物が関わり合う生物多様性から得られるものであり、生物多様性が私たちの暮らしを支えています。



生物多様性広報パネル 自然のめぐみ 出典：環境省

生物多様性の危機

生物多様性を将来にわたって引き継ぐことが大切です。しかし、私たち人間の活動が生き物たちの存在に大きな影響を与えているといわれています。現在、日本の生物多様性は4つの危機にさらされています。

<p>第1の危機</p> <p>開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少</p>	<p>第2の危機</p> <p>里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下</p>
<p>第3の危機</p> <p>外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱</p>	<p>第4の危機</p> <p>地球環境の変化による危機</p>

生物多様性かわさき戦略に基づく取組

川崎市では、「生物多様性かわさき戦略」に基づき、様々な取組を行っています。戦略の基本方針である「人と生き物をつなげる」「生き物をつなげる」「情報をつなげる」における代表的な取組を紹介します。

<p>基本方針1 人と生き物をつなげる</p> <p>生物多様性を大切にする意識を広め、子どもたちの自然等への関心や地域で活動する人材を育むことで、人と生き物をつなげます。</p>  <p>自然観察会</p>  <p>人材育成講座</p>	<p>基本方針2 生き物をつなげる</p> <p>生き物の生息・生育環境の拠点となる自然環境を守り、それらを河川や街路樹などの回廊(コリドー)で結んで生き物をつなげます。</p>  <p>樹林地保全活動</p>  <p>生田緑地</p>	<p>基本方針3 情報をつなげる</p> <p>生物多様性に関する様々な情報を集めて、それらを効果的に広く発信することで、生物多様性に関する情報をつなげます。</p>  <p>河川の生物調査</p>  <p>かわさき生き物マップ</p>
--	---	---